

平成 28 年 1 月 29 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行  
 代表者名 代表取締役社長 工藤 英之  
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

### 平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算、および通期業績予想の下方修正について

当行の、平成 28 年 3 月期第 3 四半期における親会社株主に帰属する四半期純利益<sup>1</sup>は 481 億円、前年同期比 42 億円の減益となりました。単体四半期純利益は 287 億円、前年同期比 70 億円の減益となりました。

第 3 四半期までの業績に加え、近時の市況悪化に伴う影響などを踏まえて通期の業績見直しを見直した結果、平成 27 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期通期業績予想を以下の通り下方修正いたします。

- 親会社株主に帰属する当期純利益<sup>1</sup>予想は、700 億円から 620 億円に下方修正
- 単体実質業務純益予想は、370 億円から 340 億円に下方修正
- 単体当期純利益予想は、420 億円に据え置き
- 期末配当予想は、1円 00 銭に据え置き

#### 平成 28 年 3 月期 第 3 四半期 損益の状況(連結)

(単位:億円)

	平成28年3月期 第3四半期(9か月)	平成27年3月期 第3四半期(9か月)	増減額
業務粗利益	1,643	1,756	△113
経費	△1,046	△1,054	7
与信関連費用	△35	△57	22
親会社株主に帰属する四半期純利益 <sup>1</sup>	481	523	△42
同キャッシュベース <sup>2</sup> 四半期純利益	533	581	△47

#### 当期の連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位:億円)

	親会社株主に帰属 する当期純利益 <sup>1</sup>	1株当たり 当期純利益	親会社株主に帰属 するキャッシュベース <sup>2</sup> 当期純利益
前回発表見通し(A)(平成27年5月12日公表)	700	26円37銭	760
今回発表見通し(B)	620	23円36銭	680
増減額 (B-A)	△80	△3円01銭	△80
増減率 (%)	△11.4%	△11.4%	△10.5%
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	678	25円57銭	754

#### 当期の単体業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)(単位:億円)

	実質業務純益	当期純利益
前回発表見通し(A)(平成27年5月12日公表)	370	420
今回発表見通し(B)	340	420
増減額 (B-A)	△30	-
増減率 (%)	△8.1%	-
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	423	457

## 業績

- **業務粗利益**は、1,643 億円となり、前年同期比 113 億円の減少。このうち資金利益は 904 億円で、前第 3 四半期に計上された大口の有価証券配当収入の剥落と法人部門を中心としたスプレッドの縮小による収益の減少が、消費者金融ファイナンス業務の貸出残高増加に伴う収益の伸長と調達コストの減少の影響を上回ったことなどにより、前年同期比 71 億円の減少。非資金利益は 738 億円で、前第 3 四半期に計上されたプリンシパルトランザクションズ業務の大口収益の剥落とファンド投資における評価替えによる損失の計上などにより、前年同期比 41 億円の減少。
- **経費**は、1,046 億円となり、前年同期の 1,054 億円から 7 億円減少。経費率は 63.7%。
- **与信関連費用**は、消費者金融ファイナンス業務での貸出残高増加に伴う貸倒引当金の繰入を、法人部門における大口の戻り益で一部相殺し、前第 3 四半期の 57 億円(費用)から、当第 3 四半期は 35 億円(費用)に 22 億円の改善。
- **親会社株主に帰属する四半期純利益<sup>1</sup>**は、前年同期の 523 億円から 42 億円減益となり、当第 3 四半期は 481 億円。
- **単体四半期純利益**は、前第 3 四半期の 357 億円から 70 億円の減益となり、当第 3 四半期は 287 億円。
- **総資産**は、平成 27 年 3 月末の 8 兆 8,898 億円から 4,397 億円増加し、平成 27 年 12 月末は 9 兆 3,296 億円。

## 資本および資産の質

- **自己資本比率**は、引き続き十分な水準を確保。バーゼル 3 国内基準(経過措置適用ベース)での**連結コア自己資本比率**は平成 27 年 3 月末の 14.86%から平成 27 年 12 月末には 14.33%へ低下。バーゼル 3 国際統一基準(完全施行ベース)での**普通株式等 Tier1 比率**は平成 27 年 3 月末の 11.9%から平成 27 年 12 月末には 12.8%に上昇。
- **不良債権比率**は、不良債権処理の進展などにより、平成 27 年 3 月末の 1.42%から平成 27 年 12 月末の 0.81%へ大幅に改善。

<sup>1</sup> 企業結合に関する会計基準の改正を踏まえ、平成 28 年 3 月期より、親会社株主に帰属する純利益、親会社株主に帰属するキャッシュベース純利益へそれぞれ表記が変更されております

<sup>2</sup> 親会社株主に帰属する純利益からのれんに係る償却額及び企業結合に伴う無形固定資産償却額とそれに伴う繰延税金負債取崩額を除いたもの

当期決算の詳細については、以下当行 URL(「IR 情報」メニューの中の「四半期決算情報」)をご覧ください。

URL: [http://www.shinseibank.com/corporate/ir/quarterly\\_results/index.html](http://www.shinseibank.com/corporate/ir/quarterly_results/index.html)

以上

お問い合わせ先

新生銀行 IR・広報部

高橋、江口

Tel.03-6880-8303